

保育のちから



鳴門教育大学大学院教育実践教授

鳴門教育大学附属幼稚園園長

佐々木 晃

「園長先生、私が跳ぶの数えてね」口を真一文字に結んで4歳児が短縄を構えます。私は「1、2、3、4、5」と数えます。縄は5回目で脚にかかってしまいました。でも、彼女の表情からは「どう？やるでしょう私」という思いが読み取れます。「すごい。5回も跳べたね」と喜ぶ私に、4歳児は納得した顔でうなずきました。彼女はすぐに息を整え、次の挑戦に備えて身構えています。もし、昨日まで7回跳べていた子どもに対してなら「5回『も』」という同じ言葉はかけません。その子は「園長先生、私を甘く見ないでね！ぷん」と自分の実力が正当に認められていないと感じ、逆に怒られるからです。そこで、私は「1、2、3、4、5・・・、5回」と、カウントしたあと、少し余韻を残すように「5回」であったことを伝えるでしょう。いいところを見せようと気はやり、失敗してしまったであろう、この4歳児は、「もう1回。園長先生、もう一回いくよ」と、再挑戦を宣言するでしょう。「・・・6、7、8、9、10、11、12、13。すごい。13回も！」と興奮する私に、今度は彼女も満足して微笑むはずです。

「5回」なのか「5回も」なのか、たった一語で変わってくる言葉のニュアンスで子どもを的確に認めたり、やる気を促したりできる保育者の専門性の高さをうかがい知ることができるでしょう。もちろん、その背景には、前日までの子どもの姿から読み取る育ちや学び、その子の性格など、子ども理解の基本がしっかりとなされていることも見逃してはいけません。

保育の現場はこのようなスリリングな瞬間の連続

で構成されているのです。このように、目標や課題をもって縄跳びに挑戦する4歳児の姿からも、幼児教育が子どもの「生きる力」の基礎を培うものであることが分かります。この縄跳び遊びの中でも遊びへの関心や心情、跳ぼうとする意欲や挑戦する態度などが促されている様子もよく分かります。でも、それだけではありません。例えば、「5回」という言葉は「全部で5回跳べた」という、ものの集まりの大きさ（集合の要素の数）を表す集合数（計量数）を意味しています。「お友達が跳ぶの待っていてね。あなたは5番目ね」は、順番を表す順序数を表しています。ですから、私たち保育者は、「5（ご）」とだけ言って終わりにしません。生活の中のTPOに合わせて意図的に「5回」「5番」等の数詞をつけて子どもに伝えたり、時に「五つ（いつつ）」という表現に触れさせたりもします。とくに「算数教育」という意識もせず、普通に、しかも日常적으로おこなっているこれは、幼児期の子どもたちに数理的な見方や考え方を自然な形でしかもアクティブ・ラーニングさせながら身につけさせている優れた指導なのです。「算数」という特別な時間ではなくて、生活の中で、日常的に、根気強く繰り返して行われる保育こそ、幼児期の子どもたちにふさわしい良質の教育と言えるでしょう。一方、「保育」は、総合的で日常的で、自然な形であるがゆえに、優れた保育実践でも世間の人たちには分かりにくいということも否めません。今後はさらに、説明力や発信力を加えて保育のちからを高めていくことが求められています。幼稚園教育100年の英知をもとに、先生方とつながり、新時代の保育を創造していきたいです。

河村建夫会長を再選 令和元年度事業計画・収支予算などを議決

7月11日、東京・私学会館において全日本私立幼稚園PTA連合会の令和元年度委員総会が開催され、委員66人が出席しました。

山本英之・全日私幼P連副会長の開会のあいさつに続いて、河村建夫・全日私幼P連会長、山本順三・全日私幼P連副会長、香川敬・全日私幼連会長よりごあいさつをいただきました。

その後、議長に月本喜久・全日私幼P連副会長を選出し議事に入りました。

議事では、議題①役員改選の件 ②平成30年度事業報告案・収支決算案の件 ③会務監査報告 ④令和元年度分担金の件 ⑤令和元年度事業計画案・収支予算案の件 ⑥PTA全国大会の件 について執行部から詳細な説明・提案があり、賛成多数で議決されました。

議題①役員改選の件では、会長に河村建夫氏（山口県）、最高顧問に森喜朗氏（石川県）の再選が満場一致で議決されました。副会長には遠藤利明氏（山



形県）、山本順三氏（愛媛県）、大越誠之氏（北海道）、敷樋昌子氏（埼玉県）、月本喜久氏（東京都）、山本英之氏（滋賀県）、福本麻衣氏（福岡県）が選任され、満場一致で議決されました。

最後に敷樋昌子・全日私幼P連副会長の閉会のあいさつがあり、本総会を終了しました。



チャイルドブックの月刊保育雑誌

ポット

2019
大きくなって
読みやすく!
リニューアル!

ワンテーマ 20 ページの
巻頭大特集を毎月掲載!

定価 本体 1,000 円 + 税
<http://www.childbook.co.jp/pot/>

〒112-8512 東京都文京区小石川 5-24-21
TEL 03-3813-2141 FAX 03-3814-3392
<http://www.childbook.co.jp/pot/>

チャイルド本社

ご注文は、貴園担当のチャイルドブック販売店
または書店まで。

●7.10

令和元年度・102条園研究会議

7月10日、東京・私学会館において、全日私幼連の令和元年度・102条園研究会議が開催され、全国から84人の先生方が出席されました。

はじめに四ツ釜雅彦全日私幼連副会長より開会のことばがあり、講演に入りました。

主な会議内容は次の通りです。

●講演①

演題：「幼児教育の無償化～制度の詳細と幼児教育の未来～」

講師：岩岡寛人・文部科学省初等中等教育局幼児教育課専門官

岩岡専門官からは、幼児教育の無償化に関する経緯や102条園の今後の対応方法についてお話がありました。また、質の高い幼児教育を提供するという根幹は維持しつつ、社会的なニーズや新たな仕組みにどのように向き合っていく必要があるのかをご指導いただきました。

●講演②

演題：「102条園からみる幼児教育の無償化について」



講師：水谷豊三・全日本私立幼稚園連合会政策委員長

無償化の具体的な内容や参加者より事前に集めた質問にお答えいただきました。また、無償化が始まることをチャンスとして捉え、今こそ改めて質の高い幼児教育を目指す時であるとお話がありました。

最後に溝淵真澄全日私幼連102条園委員長より閉会のあいさつがあり、会議は終了しました。

(株)学研教育みらい

東京都品川区西五反田2-11-8
幼児教育事業部

お問い合わせは
フリーダイヤル 0120-833-415

園ぴゅう太のメールサービス



らくらくメール

園から保護者へらくらくメール送信！
組別・個別送信、既読確認もできます。
サーバー二重化で、いざという時も安心です。



らくらくバスメール

スマートフォンでバスメールを送信！
大きなボタン表示で画面操作もらくらく。
タップするだけでメール送信できます。

ぜ～んぶ学研に
おまかせ!!

心機一転！
リニューアル

オリジナル！
キャラクター
ロゴ

Flashで
動画！

らくらくホームページ

目的やご要望に合わせて作成し、学研が更新もお電話・FAXで対応します。
「お知らせ更新は園で…」というご要望にもシステム併用でご対応いたします。

私幼時報では、令和元年5月号から10月号の6回にわたり、平成30年10月20日に開催された東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター(Cedep)と、SGU戦略的パートナーシップ大学プロジェクトストックホルムチーム、(公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構、東京大学教職支援ネットワークによる合同シンポジウム「市民としての子どもを考える教育の可能性～スウェーデンにおけるレジヨ・インスパイアの幼児教育に注目して～」の内容を報告します。今号では、指定討論の報告をいたします。なおこの報告は便宜上一人称で書きますが、全て引用という訳ではなく、一部川原恒太郎先生(大分・ひまわり幼稚園)が加筆・修正をしておりますことをご承ください。当日配付されたスライド資料は、発達保育実践政策学センターのシンポジウム報告ページ(http://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/project_report/symposiumseminar/sympo_181020/)からダウンロードできますので、ご参照ください。

東京大学大学院教育学研究科准教授・教職支援ネットワーク幹事 浅井幸子氏、
(公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構理事長 東重満氏／指定討論概要

指定討論①

レジヨ・アプローチのプロジェクト

浅井幸子先生(東京大学大学院教育学研究科准教授・
教職支援ネットワーク幹事)

○3つの質問

【「遊び(play)」の概念の位置付け】

日本における保育の根底(中心)には、昔から遊びを通して発達するという概念があります。その遊びというのが、どのように位置付くのか聞いてみたいと思います。遊びはこれらレジヨ・アプローチのプロジェクトの外なのか中なのか、中にあるとしたら、どのように位置付いているのか、ということをお聞かせください。

【「関係の場としての学び」における「(権威的な知識)の位置】

2点目は、関係の場としての学びにおける権威的な知識の位置付けについてです。特に、ノロジカのプロジェクトでクローズアップされていたと思います。木のプロジェクトでも、葉緑体やクロロフィルといった言葉の導入、酸素の放出に関する仮説といった、ある種の学問的な知識の導入があったと思います。ノロジカのプロジェクトでは保護者の生物学者に尋ねたり、そこからカビの探究をしたり、このような知識は関係の場としての学びの1つであ

CHAPPY 園児管理シリーズ クラウド対応

園児管理システム

パソコンでも
タブレットでも
使えます!



PC タブレット



園長 先生

園で役立つ機能が満載! しかも簡単入力で時間削減。
チャイルド社の園児管理システムは、
忙しい先生を応援するためのシステムです。

出席の管理
未就園児管理
バスコース管理
承認機能完備

パソコン内ではなく
データセンターでの
管理になるので
セキュリティに
優れています。

個人カリキュラム
検査記録
課外活動一覧
指導計画

開発・販売
株式会社 **チャイルド社** コンピュータ部
〒167-0052 東京都杉並区南荻窪4-39-11 TEL 03-3333-2345
ホームページアドレス <http://www.child.co.jp/>

ると言えます。しかし、子どもたちが自らの意味形成、探究、想像に価値を置くことを保ったまま、権威的な知識を導入するのはとても大変なことだと思うのですが、それらの知識を導入するにはどのようにすればいいのでしょうか。また、小学校、中学校、高等学校と進んでいったときに、子どもたちが自分自身の意味形成に、どのようにして価値を置き続けることができるのでしょうか。権威的な知識の存在感が大きくなっていったときに、意味形成はどのような形を取るのかという問いにもつながっていくと思います。

【教育学的ドキュメンテーションをどのようなものとして理解するか】

3点目は、教育学的ドキュメンテーションをどのように理解するかということです。それにおいてラーニングの記録という言葉が使われていたのですが、同じラーニングと言っても、日本のドキュメンテーションの伝統とは随分違うように感じます。

日本のドキュメンテーションは、物語的な実践記録であったり、制度的な記録であったりと形式は様々ですが、子どもに対する理解とか子どもの成長や変化などがクローズアップされてきたように思います。教育学的ドキュメンテーションのラーニングは、子どもの観察記録ではないということを、ダールベリさんが著書で明確にしていますが、私から見

ても、子どもの成長の記録もないのでラーニングでないと感じています。むしろ子どもと教師の関係の記録のほうが、持続可能な社会を共に探究しているように感じます。それこそが市民であるということだと思います。共に探究する人になるのではなく、既に共に探究する市民なのだということを表現しているのが、子どもの成長の記録ではない、ある種の教育学的ドキュメンテーションなのかと思いつつ、お話を伺いました。

それから、もう一つの側面として幼児教育を変えていくときに、そのドキュメンテーションをどうするかというのがキーになるということを感じたところです。レτζョ・アプローチにおいてドキュメンテーションは子どもの成長の記録ではないのか、ラーニングというのは何なのかを質問させていただきます。

淀川裕子（発達保育実践政策学センター准教授）：

浅井先生どうもありがとうございました。とても重要な3つのご質問を提示していただいたと思います。

続きまして、2人目の指定討論に移ります。（公財）全日本私立幼稚園幼児教育研究機構理事長で、北海道の美晴幼稚園の園長先生でもいらっしゃいます東重満先生です。どうぞよろしくお願ひします。

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に準じた指導計画

月刊 保育とカリキュラム

毎月2日 発売



ひかりのくに株式会社

本社/〒543-0001 大阪市天王寺区上本町3-2-14 TEL.06-6768-1151代表
支社/〒175-0082 東京都板橋区高島平6-1-1 TEL.03-3979-3111代表

指定討論②

東重満先生（（公財）全日本私立幼稚園幼児教育研究機構理事長）

【学びが関係の場であるということ】

お二人の先生の話に衝撃を受けながら伺っていました。豊かな実践に依拠したご報告で圧倒されました。Ingela 先生のお話しできなかった最後のスライドを開いていただいても、よろしいでしょうか。「今日のプリスクールにおける複雑な使命」です。あれだけ豊かな実践を紡がれているのに、知識や伝統を伝えること、子どもたちが主体的に知識を創造する機会を与え保障することに加え、さらに予測・予期できないことへの余地を残しておくことに触られています。偶発的な出会いから生まれ、あるいは子どもの声から始まった実践を全て子どもと共に完結するのではなくて、常にその余地を残しておく寛容さは、なかなか我々には持ち得ない感覚なのではないかと強く感じました。

【スウェーデンとレッジョの類似性】

最初の話にありましたが、スウェーデンの保育実践自体が誇り高く、まさに豊かな保育実践の歴史を重ねられてきたわけですが、今日のプリスクールにおける複雑な使命の柱は、レッジョ・エミリアとの類似性です。民主主義のエートス（ethos その地域固有の気風、精神、思想）と子どもへの敬意、リスペクトからレッジョ・エミリアの保育実践の中のエッセンスをより高め、スウェーデンの保育の中に取り込んでいくことの意義深さです。それから、学際的、横断的なテーマやプロジェクトや実践につなげていくというアプローチのやり方や、子どもたちの創造的で神秘的な表現を重視して引き出すということです。

【逆教育の概念】

逆教育の概念というのを振り返ってみると、全日本私立幼稚園連合会から出向した 2020 年オリンピック・パラリンピックのバリアフリーの構成委員

今日のプリスクールにおける複雑な使命

知識や伝統を伝えること
そして
子どもたちが主体的に知識を創造する機会を与えること

計画されたことや既知っている知識に加え、現在進行形の出来事の中で子どもたちが抱く問いや好奇心をふまえ、予期せぬことや予測できないことのための余地を残しておくこと

として参画したことを思い出します。パラリンピックの国際委員会委員長が東京に視察に来られ、担当者に「逆教育、逆さまの教育概念というのを知っていますか。前の世代から、後の世代、子どもへ、さまざまな伝達を行うというのが教育と思われがちですが、新しい価値や概念を創成していく、社会変革していくときには、下の世代、幼い子どもたちの意識を変えることが、子どもの行動に結び付き、それを見た大人が触発されて、社会変革に結び付けていったという、逆の方向での教育というものある」という話をされていました。まさに、レッジョ・アプローチ、さすがスウェーデンと感じました。今日ご報告があったのは、子どもの声を生かしていくことです。子どもの尊重ばかりではなく、伝達と創造のやりとりの豊かさに大人側の懐の深さを非常に感じました。

【生命尊重・持続可能な社会へ】

ESD（持続可能な開発のための教育）、SDGs（持続可能な開発目標）という運動が日本では進みません。先日、自園に高校生がワークショップに来てくれました。保育者と子どもを交えてのワークショップだったのですが、やはり若い世代の方が社会の動き、未来に対する気付き、危機感や期待感を持って取り組んでいると感じました。大人側が触発されたのですが、若者と市民意識の高まりにつながっていく関係性を保つことも大事な気がしました。子どもを未来の市民として捉えるのではなく、幼少期の子ども自身が、既に市民なのだという位置付けです。

今日改めて実践の報告を伺いながら確認ができました。

○3つの質問

【特別な支援を要する子どもたちへの関わり】

私は実践の立場にいますので、研究的な側面というよりも、運営面に関わるようなところで、3つの問いを立てさせていただきました。

1つ目は、「合理的配慮や教育的に特別な支援を要する子どもたちは、どのようにアプローチしているのか、また参画しているのか」ということです。理解や表現の困難さを持っている子どもが中にはいます。その子どもたちをこのプロジェクトの中でどのように考えているのかお伺いします。

【長時間の教育的アプローチとプリスクール・クラスでの生活】

2つ目です。プリスクールを家庭的なものから作業場面の環境へ移していくという話がありました。これは年齢を段階で分けるのではなく、2～3歳から既に教育的なアプローチの環境の中に子どもたちがいるという報告がありました。保育時間や今までの歴史的な流れもあるかもしれませんが、形態的な変化を求めていると思います。日本では、教育・保育施設で非常に長い時間を過ごすことを求められています。中でも教育的アプローチが施設や環

境、保育内容の面でも十分に保障される可能性があるかお聞きします。それに伴って、プリスクール(6歳児)クラス、新しいナショナルカリキュラムの話がありましたが、6歳児が入るプリスクール・クラスの制度化は、6歳児と幼児との交わりの中で、どのように生活の豊かさが保障されどう変化をもたらしたのかというところを聞きたいと思います。

【教師の自立性と実践者・教員養成・研究者との共同】

最後に3つ目です。2013年にスウェーデン、ヨンショーピングという小さな町に伺ったことがあります。保育施設が非常に豊かでレジジョ・アプローチの教育施設でした。環境の中に保育者の自立性をすごく感じ、個性や専門性、思考がありました。もちろんプリスクールの中で保育に対しての決まりはありますが、その中でも、環境の作り方、ドキュメンテーションの表現の仕方に、保育者・教師一人ひとりに自立性を感じました。それは教員養成あるいは、研究者と保育の実践現場のコラボレーションという共同研究や共同のあり方に関係するものなのかどうかを伺ってみたいと思います。私からは以上です。ありがとうございました。

※今回の浅井先生・東先生からの指定討論の回答は次号連載⑥「対話」となります。

(大分県・ひまわり幼稚園/川原恒太郎)

創刊10周年! 地域で愛される園になるためのサポートブック

園のリーダーのために
保育ナビ

管理職
向け
月刊誌

2019年9月号 定価: 本体価格 926円+税

●特集「今こそ、アンラーンを! ~学びほぐしが保育を変える」

アンラーン (unlearn) とは、「学びほぐし」。型どおりのセーターを一度ほどいて、ほぐした毛糸で自分の体に合うセーターを編み直す、そのような学び方です。先入観を一旦リセットして、まっさらな目で子どもや保育を見つめ直し、新たな保育のあり方を考えてみましょう。

B5判 72ページ
ISBN978-4-577-81461-1 729

本社: 〒113-8611 東京都文京区本駒込 6-14-9 <https://www.froebel-kan.co.jp>
ご注文・定期購読のお申し込みは 03-5395-6608 保育事業部営業本部まで

キンダーブックの **フレイベル館**



はじめてみませんか

寄付金募集

寄付金募集の際には日本私立学校振興・共済事業団の

受配者指定寄付金制度

をご活用ください

受配者指定寄付金制度を利用して、学校法人立の私立幼稚園へ寄付を行うと、寄付者（企業・法人）は法人税法上の優遇措置として**全額損金算入**することができます。

ご利用には一定の要件があります
まずは、下記までお気軽にご相談ください

日本私立学校振興・共済事業団
助成部 寄付金課
〒102-8145
東京都千代田区富士見 1-10-12
TEL 03-3230-7316 ~ 7318
e:mail kifukin@shigaku.go.jp
HP-URL <http://www.shigaku.go.jp/>

寄付金は私立学校の
重要な収入源です！

※子ども子育て支援施設（学校法人が設置する幼保連携型認定こども園）支援のための寄付金もこちらの制度の対象となります



第10回ようちえん絵本大賞

～新しい絵本を見つけよう～

大賞
16冊が決定

第10回ようちえん絵本大賞は、“子どもに読み聞かせたい絵本”、“お父さん・お母さんに読んでほしい・お勧めしたい絵本”を選考の基準として、(公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構・調査広報委員会が過去おおむね5年以内に出版された絵本の中から選考を行いました。その結果、特別賞4作品を含む16冊が絵本大賞に選ばれました。

調査広報委員一同、これからも子どもたちと絵本との出会いの一助となるよう努めてまいります。なお、参考までに調査広報委員会が絵本の紹介文を記載させていただきました。

第10回ようちえん絵本大賞 受賞一覧

絵本名・作者・出版社名	絵本の紹介
<p>(公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 理事長賞</p> <p>おじいちゃんとパン たな (絵・文) パイ インターナショナル</p>	<p>ページをめくると、トーストの香ばしい匂いに、まるで鼻をくすぐられるような思いになります。トーストにのせるのは、たっぷりのバターにジャム、ときには、あんこと黄な粉、そして焼きマシュマロ・・・など、おじいちゃん特製のパンです。あまい、あま～いパンをおいしそうに食べるおじいちゃんのが大好きなちびすけ。時は流れ、ちびすけは成長し、おじいちゃんは年を取り、やがて……。それでも、あまい、あま～い、愛情たっぷりのおじいちゃんのパンは健在です。おじいちゃん特製のパン、食べてみたいくなりますよ！</p>
<p>特別賞</p> <p>調査広報委員長賞</p> <p>おおかみのおなかのなかで マック・バーネット (文) ジョン・クラッセン (絵) なかがわちひろ (訳) 徳間書店</p>	<p>ある朝、おおかみにパクっと食べられてしまったねずみ。もう終わりだとおもいきや、おおかみのおなかの中には、なんとアヒルが暮らしていたのです。何か失敗して「もう終わりだ・・・」と、絶望的な気持ちになっているとき、この物語はあなたにピンチを切り抜けるヒントをくれるかもしれません。食うもの、食われるもの、それぞれがなくてはならない存在。ねずみとアヒル、おおかみの不思議な助け合いの物語です。</p>
<p>こどもがまんなかPROJECT賞</p> <p>はじめてのオーケストラ 佐渡裕 (原作) はたこうしろう (著・絵) 小学館</p>	<p>とっておきのドレスでおめかしをして、髪にはドレスとお揃いのリボンも付けました。今日は、みーちゃんが生まれて初めてオーケストラを聴きに行く日です。大きな会場、ふかふかの絨毯、着飾った大勢の人たち、みーちゃんもちょっぴり大人になった気がします。さあ始まります。小さな細い音に続いて、たくさん楽器の音が追いかけてきます。なめらかな音、はずむようなメロディ、軽やかなリズム。みーちゃんはどうと目を閉じます。会場の人たちも皆、音楽に身を任せています。最後の音が鳴りやむと、会場は大きな拍手に包まれました。みーちゃんのオーケストラデビューの素敵な夜の物語です。</p>
<p>こどもがまんなかPROJECT賞</p> <p>おなじ月をみて ジミー・リャオ (作) 天野健太郎 (訳) ブロンズ新社</p>	<p>本書は芸術性の高い絵本です。主人公ハンハンはいつも窓際に立って何かを待ち続けていた少年です。そのような日々を過ごしながらも、彼に助けを求めて尋ねてくるさまざまな動物に対して、いつも親切でした。…ある日の夕刻、彼が待ち望んでいたお父さんがついに戦場から帰還したのです。そして、わかったことは、親子ともども「おなじ月を見て」祈っていたことが《平和と再会》だったということでした。</p>

絵本名・作者・出版社名	絵本の紹介
キツネと星 コラリー・ビックフォード＝スミス（作・絵） スミス幸子（訳） 中央出版	<p>「うわあ。綺麗な本」子どもたちに絵本を見せた時の言葉です。森の中に住んでいるこわがりな一匹のキツネのお話。夜空に輝く星がキツネのたったひとりのともだち。ところがある日、星が・・・。</p> <p>きっと絵本を読み終えた後に感じることは、子どもとおとなでひとりひとり違うはず。あなたのこころは「なに」を感じることでしょう。</p> <p>濃紺に白で描かれたキツネと星が美しい表紙の絵本。ページをめくっていくたびこころが動く一冊です。</p>
みずとはなんじゃ？ かこさとし（作） 鈴木まもる（絵） 小峰書店	<p>私たちが普段何気なく使用している「みず」を見つめると色々な形、液体や水蒸気、そして氷に姿を変え、しかも我々生き物のほとんどの内容が「みず」から出来ていることの不思議さに気付かされ、「みず」とは何？を改めて考えさせられる絵本です。また、世の中の生き物は、この水がなくては生きて行けず、大切な水を汚さないで守っていく自然環境へ目を向ける深いメッセージも込められております。絵本作家・かこさとしさんの遺作絵本です。</p>
きょうがはじまる ジュリー・モースタッド（作） 石津ひろ（訳） BL出版	<p>一日が始まる朝、真っ先に考えることは？女の子（いやいや男の子でも）の大半がこう答えるでしょう。「今日はどの服にしようかな」。さてさて、服装が決まったら準備はオクケー！楽しい今日の始まりです。ページをめくるごとに描かれているたくさんのイラストは、自分でセレクトできるワクワク感が盛りだくさん。人形の着せ替えごっこをしているような楽しさがあって、大人だって夢中になって読んでしまう一冊です。</p>
しんごうきピコリ ザ・キャビンカンパニー（作・絵） あかね書房	<p>しんごうきピコリは交差点に立つ信号機です。信号が点灯するときにはピコリ！と光ります。青は進め！黄色は注意！赤は止まれ！でもピコリの信号はそれだけではありません。お次はピンク！きみどり！オレンジ！それからむらさき！と、次々に光ります。一風変わったこの信号機の楽しいいたずらで、さてさて町は一体どうなってしまうのでしょうか？ユーモラスな絵と物語の意外な展開が読む者を不思議な世界へと誘います。</p>
もみじのてがみ きくちちき（作・絵） 小峰書店	<p>絵本を開くと、吸い込まれるような真っ赤なもみじ。お話は、「もみじのてがみ」を知らせる「つぐみ」の登場から始まります。筆で描かれた絵は、力強くも繊細なタッチで描かれていて、次々に登場する動物たちの気持ちや動きを感じることが出来ます。可愛い山動物たちと秋そして冬の訪れを感じながら、「もみじのてがみ」を探します。最後は、大人も子どもも思わず「うわあ」と声があがることでしょう。とっても素敵なブックカバーもこの絵本の醍醐味。「あかい」が目印の一冊です。</p>
てつぞうはね ミロコマチコ（作） ブロンズ新社	<p>これは本当のお話です。作者が飼っていた愛猫、鉄三の日々の姿を描いた、猫好きなら、たまらない絵本。主人公「てつぞう」の表情や動きが実に憎らしく、愛おしく、自由で、温かい。おにぎりみたいにふわふわだったてつぞうが、小さく弱くなっていく姿には胸が締めつけられます。別れがあつての出会い、新しい出会いのおかげでさらに強く感じる亡くなったものへの愛情。優しさにあふれた作品です。</p>
たくさんのたくさんのたくさんのひつじのはなはるか ひさかたチャイルド	<p>たくさんの、たくさんの、たくさんのひつじたちが不思議なわたげを追いかけて。森の中、空の上、海の中、地面の中・・・など、どこまでも追いかけて旅をします。ある日、わたげから芽が出ると、ひつじたちは、じーっと、ずーっと見守ります。その芽は大きな花を開かせると、やがて、たくさんの、たくさんの、たくさんのわたげになって、空を高く高くとんでいきます。</p> <p>たくさんのひつじたちですが、よく見ると、みんな同じではないのです。どんなひつじたちがいるか探してみてくださいね。そして、旅をしながら、いろいろなことをしています。どんなことをしているのかな？探してみてくださいね。</p>

絵本名・作者・出版社名	絵本の紹介
<p>ペロのおしごと 樋勝朋巳(作) 小学館</p>	<p>犬のペロはお母さんが大好き。そんなお母さんにネックレスをプレゼントしたいと考えます。ついにある日決心します。2本の足ですくと立ち、青い首輪を外し、腰に赤いベルトを締め、お仕事を探しに出かけます。ペロは犬です。しかし、なんの違和感もなくこの展開を受け入れられるのが樋勝朋巳作品です。いろいろな仕事を試みますがなかなかうまくいきません。しかし、こんぶの仕事をしている心優しい奥さんに出会い、素敵なプレゼントを手に入れることができました。</p>
<p>ママが10にん!? 天野慶(文) はまのゆか(絵) ほるぷ出版</p>	<p>子どもたちには、大好きなママと一緒にしたいことがいっぱいあります。毎日大忙しのママですが、時には仕事を後回しにして、子どもの「ねえ、ママ～」に応じてあげたい絵本です。</p>
<p>まいにちがプレゼント いもとようこ(作・絵) 金の星社</p>	<p>今のことをPresentといいます。次々にやってくる新しい「今」を大切に、未来に夢をもって素敵なPresentに！と心新たにさせられます。</p>
<p>ケチャップマン 鈴木のりたけ(作) ブロンズ新社</p>	<p>ナンセンス！読んだらみんなそう考えてしまうかもしれないけど、そこがこの絵本の面白さ。「かれのなまえはケチャップマン。おせばでてくるまっかなケチャップ」・・・。自分にしかできない何かを探してさまようケチャップマン。どこか哀愁漂うケチャップマンに、心を寄せてしまうかも。ポテトフライ専門店アルバイトしながら、ついに見つけた自分にしかできないことは？有名な某ハンバーガーショップを連想しつつ、少しおながすくかもしれません。</p>
<p>スムート かたやぶりなかげのおはなし ミシェル・クエヴァス(文) シドニー・スミス(絵) 岩城義人(訳) BL出版</p>	<p>おとなしい男の子の「影」であるスムート。もっと活発に動きたいと、ある日意思を持たないはずの「影」が男の子から離れます。このチャンスに逃すものか。やりたいことはたくさんある。そんなスムートを見ていたほかの影たちも次から次へと離れます。やりたかったことを実現した「影」たちは元の居場所へ帰っていきます。元気に動き回るスムートを見ていた男の子は、本当は楽しいことが大好きだと気づき、スムートと一緒に元気に過ごします。</p>



新しいものを見るたび、触れるたび、
目覚ましく成長する子どもたち。
子どもたちにとって、毎日が成長の舞台です。
育む環境で、子どもたちの明日は変わる。
だから、私たちは大切なことを「環境」から考えます。
好奇心や想像力、勇気や感動。
そして、子ども同士の関わり合い。
子どもたちが大切な時期に、確かな一歩を踏み出せるように、
最適な環境の未来をつくりあげていきます。

こども環境の未来をつくる



第10回ようちえん絵本大賞 ～わたしの好きな絵本 Best.3～



この度ようちえん絵本大賞が、記念すべき第10回を迎えました。通常のように絵本大賞に加え、「わたしの好きな絵本BEST3」をテーマに、(公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構・調査広報委員会がおすすめてほしい絵本を選出しました。絵本の好きなポイントと併せてご紹介します。絵本選びの参考の一助となれば幸いです。

選者	絵本名	出版社	作者	絵本の好きなポイント
坂本 洋 副理事長	だいじょうぶ だいじょうぶ	講談社	いとう ひろし/文・絵	子どもが育つ過程で、「だいじょうぶ」「だいじょうぶ」と声掛けされ、ピンチを救われ勇気もらい、心のゆとりを取り戻した経験は誰もがあります。その大事さを思い出してくれるほのぼのとした絵本です。
	ぐりとぐら	福音館書店	中川李枝子/作 大村百合子/絵	青と赤のつなぎ服と帽子がトレードの双子の野ねずみシリーズは、何時も二人で出会う出来事に面白い工夫をして楽しむワクワク物語。年少、年中の子ども達が「読んで」と持ってくることの多い絵本です。
	わすれられないおくりもの	評論社	スーザン・バーレイ/作・絵 小川仁央/訳	幼児にとって生と死・命とは、を教える機会は日常生活の中ではまれです。この絵本は、かけがえのない素敵な友、愛するものとの離別を物語を通して考えさせてくれるものとして貴重な本です。
川名 マミ 委員長	あかたろうの1・2・3の3・4・5	偕成社	きたやまようこ/作	親子で一緒にテンポよく楽しく読みたいお話。「おかあさん」とお母さんを探す場面は、誰もが身に覚えがあるはず。出来上がったカレーは「〇〇カレー」!
	しろいうさぎとくろいうさぎ	福音館書店	ガス・ウィリアムズ/文・絵 松岡享子/訳	思わず触りたくなるような、やわらかくてあたたかい絵がとても素敵。くろいうさぎのねがいごとは・・・ 大人も子どもも、やさしい気持ちで読みたいお話です。
	ふゆじたくのおみせ	福音館書店	ふくざわゆみこ/作	くまさんとヤマネくん。お互いに内緒で〇〇〇をプレゼントする為に奮闘するお話。誰かの為に一生懸命になるステキな気持ちを子どもへ伝えたいと思います。
源 恭子 副委員長	ゆうかなアイリーン	セーラー出版 (現:らんか社)	ウィリアム・スタイク/作 おがわえつこ/訳	おかあさんのために、勇敢に困難に立ち向かうアイリーンと、粋な大人たちが登場する作品です。
	しりたがりやのこぶたくん	童話館	ジーン・パン・ルワン/作 アーノルド・ローバル/絵 三木卓/訳	大人として根気強く正直にこぶたくんと相対しているパパとママの姿に、こんなふうになりたいなと感じた本です。
	うちとらいおん	福音館書店	マレーク・ベロニカ/文・絵 徳永康元/訳	このお話をしていると赤いライオンが欲しくなります。読み終わると強くなった気持ちになります。勇気がちょこっとわいてきます。
光岡美恵子 副委員長	どろだんご	福音館書店	たなかよしゆき/文 野坂勇作/絵	子どもたちに親しみのあるどろだんご。完成するまでにたくさんの遊びが隠れています。心から過程を楽しむ子どもの感覚に気づかされる一冊です。
	おおきなおおきな おいも	福音館書店	市村久子/原案 赤羽末吉/作・絵	夢いっぱいのお話の中に、マイナスのことがプラスに転じていく大切さが描かれています。子どもの夢を大切に作る温かいお話。
	どろんこハリー	福音館書店	ジーン・ジオン/文 マーレット・ジョイ・グレアム/絵 渡辺茂男/訳	愛犬へのユーモアとやさしさがあふれた素敵な絵本です。家族の愛がじんわりと伝わってきます。ご家庭の本棚にぜひ1冊。続編も出ています。
山西 幸子 委員	ちいさなうさこちゃん	福音館書店	ディック・ブルーナ/文・絵 石井桃子/訳	あたたかな家族、おだやかな生活。小さな命の誕生をみんなで喜びます。洗練された言葉と画、色。子どもが初めて出会う絵本として選りすぐりの逸品です。
	ぐりとぐらの1ねんかん	福音館書店	中川李枝子/作 山脇百合子/絵	春、夏、秋、冬、折々の自然があって、ぐりとぐらがいて、仲間がいます。四季の移り変わりを感じながら生きることの幸せが、ここにあります。
	まねっこでいいから	瑞雲舎	内田麟太郎/作 味戸ケイコ/絵	子育てとは、抱きしめること、と教えてくれます。抱きしめることは、子どもの心に寄り添うこと、子どものありのままを愛することなのです。

前田 浩輔 委 員	こんとあき	福音館書店	林明子／作	2人の冒険に心温まる一冊です。
	さるのせんせいとへびのかんごふさん	ピリケン出版	穂高順也／作 荒井良二／絵	ナースの鏡！！へびのかんごふさん
	いいおかお	童心社	松谷みよ子／文 瀬川康男／絵	読めばたちまち「いいおかお」
野上 秀子 委 員	キツネ	BL 出版	マーガレット・ワイルド／作 ロン・ブルックス／絵 寺岡襄／訳	人として、大切なことを考えるきっかけとなる絵本の1つです。友情、信頼、誘惑、裏切り、後悔…人間社会の複雑な心の動きを描いたお話です。
	ガンピーさんのふなあそび	ほるぷ出版	ジョン・バーニンガム／作 光吉夏弥／訳	穏やかでゆったりとした自然が舞台。そこに住む子供や動物たちの個性を丸ごと受け止めて、温かく包み込むガンピーさんに、ほっこりする絵本です。
	わたしとあそんで	福音館書店	マリ・ホル・エッツ／文・絵 与田準一／訳	小さな女の子と森の生き物たちとの出会いの中で、心通わせる表情や眼差しが、とても暖かく幸せな気持ちになります。そんな姿をいつも見守っているおひさまは、お母さんのよう！
宮本 忠史 委 員	三びきのやぎのらがらどん	福音館書店	マーシャ・ブラウン／絵 瀬田貞二／訳	小山羊、中山羊、大山羊それぞれの立場で苦難を乗り切るストーリーが、園児たちのこれからの人生とオーバーラップして、頑張っただけ人生を切り開いていけよと思います。
	ぐりとぐら	福音館書店	中川李枝子／作 大村百合子／絵	幼少期にこの本を読んでもらって、カステラを食べたくて親におねだりしても食べさせてもらえなくて大人になって美味しいカステラを食べることができて、思いっきり食べた覚えがあります。だから今でも食いしん坊です。
	はらぺこあおむし	偕成社	エリック・カール／作 もりひさし／訳	色遣いの鮮やかさに惚れました。特に、輸入品の英語版は色遣いが日本の色彩と違った独特の色遣いで気に入りました。
高尾 恵子 委 員	いしゃがよい	福音館書店	さくらせかい／作	今年96歳の母を亡くしました。エンさんの姿と母が重なります。この本を教えてくれた娘もエンさんに私の姿を重ねているのでしょうか。
	はじめてのおつかい	福音館書店	筒井頼子／作 林明子／絵	仕事と子育てで大変だったとき、励まされていた本です。子どもたちに繰り返し読んでいました。
	100万回生きたねこ	講談社	佐野洋子／文・絵	これは恋愛のバイブルです。その一言につきます。心がギスギスしたときに読むと周りに優しくなれる一冊です。
前田 幹 専門委員	おいしいのぼうけん	童心社	ふるたたるひ、 たばたせいいち／作	この作品が発表された1974年、私は4歳(年少組)。母が買ってくれたその絵本は今も私の本棚にあって、時々引っぱり出してきては読み返す、読書の原点です。
	おしゃべりなたまごやき	福音館書店	寺村輝夫／作 長新太／画	私は、親切でお茶目とどぼけていて結局最後まで自分が犯人ですとは言い出せないこの王様の密かなファンなのです。あ、うん。
	海	福音館書店	加古里子／文・絵	本当の海の深さをまだ知らない小さな子どもだった私に、陸地よりもはるかに広く深い海底世界への憧れと畏怖の念を抱かせた一冊です。
波岡 伸郎 専門委員	100万回生きたねこ	講談社	佐野洋子／文・絵	何も知らない私に、絵本の魅力、絵本の力を知らしめた作品です。
	きょうはそらにまるいつき	偕成社	荒井良二／作・絵	私の考える「絵本」の一つの理想の形になっていると思われる作品です。
	パパのカノジョは	岩崎書店	ジャンス・レヴィ／作 MON／訳 クリス・モンロー／絵	親として、先生として子どもとの向き合い方を示してくれる作品です。何度読み返しても背筋が伸びる思いです。
奈良 誉夫 専門委員	りゆうがあります	PHP 研究所	ヨシタケシスケ／作・絵	子どもがついやってしまうさまざまなことについて、子どもが子どもなりの理由づけをすることで愉快。
	うし	アリス館	内田麟太郎／詩 高島純／絵	牛がうしろをふりかえったら、うしがいて、その牛がうしろをふりかえたら…別の牛が…という面白い絵本です。

幼児の健康な心と体を育む

～「環境」を生かした遊びを通して～

発表者 塩釜ひまわり幼稚園 (主幹教諭) 渥美恵理子 (教諭) 峯岸緒里恵

共同研究者 しげる幼稚園園長 小野寺靖子

研究主題のとらえ方

「健康な心と体」は生涯にわたり健全な生活を営むための基盤で幼児期にその基礎を養う。幼児が活発に遊び豊かに活動するために家庭と連携しながら育まれるもので、幼稚園の果たす役割は大きい。今回の研究では、幼児の「健康な心と体」を育むために、幼児期にふさわしい発達を促し健やかな成長のために必要な経験をする場として望ましい「環境」の構成を課題とする。園の「環境」を再確認し、バランスの良い構成になっているか、また、「環境」のいかし方を考え、幼児の遊びを研究する。そして「環境」が与える子どもへの影響はどのようなものになるのかいろいろな場面で検証したい。

研究の手がかり

今ある身近な環境を
スポットごとに
検証する

幼児の遊びの姿を理解
し、遊びの中から培う
幼児の心と体の発達
を研究する

家庭と連携し健康な心と
体を育むために、
今後なすべきことを
共に考える

より質の高い専門性を
養えるようファシリテ
ーションで研究を
深める



五感を刺激する活動として土に触れる、植物を育てる、裸足で遊ぶ・・・等を日々の保育で実践。
公開保育では、色水遊びを行い、子どもたちの様々な発見や気づきがありました

たのしい!
へんなにおい



いろが
かわった!

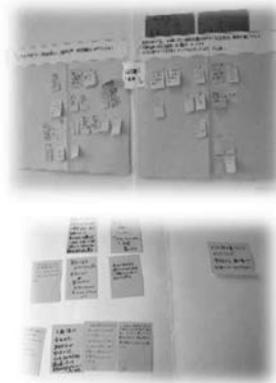
色水遊びを通して改めて気づいたこと

園の豊かな環境をいかした遊びを考えた時に、施設的な環境に目が行きがちだった。その環境をどのようにいかにするかを考え、保育内容を検討し活動に取り入れた。『環境をいかす』は、子どもが何を体験したか、どんな活動ができたか、ではなく、活動したことによって何を身につけてほしいのか、何が身についたのか、が本質であることを学んだ。家庭で出来ないことを園生活の中に盛り込み、集団の醍醐味を味わえるようにする。今回の色水遊びで幼児の様々な気づきがあったように、保育者がきっかけを作り、幼児自らの気づきを拾うことにより次の経験に繋がっていく。人的環境、保育者こそが一番の環境だということを再確認し、幼児自身が健康な心と体を育む力を養えるように働きかけていきたい。

公開保育後 参加者と保育者
の間でファシリテーションの
実践をした



参加者
の意見



実際に保育室に
貼られたふせん

同じような内容を
まとめたふせん

ピンクの
ふせんより

季節に合った草花
で楽しめていた

子どもがいきいき
していた

“匂い”に気付いた
子への対応が素敵
だった

季節に合った草花
で楽しめていた

ブルーの
ふせんより

他の草花でも試
してみては？

朝顔の花を摘み取る
ところから始めても
楽しかったのでは

色水で描いた絵は
見えづらかった

色が薄いかな
と思った

★ピンクのふせんは、参加者から共感を得られた意見で、保育者としては“見どころ”を見てもらえたと感じた。

★ブルーのふせんは、参加者からの疑問や質問で自分たちの保育をもう一度見直すきっかけとなった。○色が薄い・・・の意見について⇒指導助言者から、研修のまとめで「当日の目的は“あさがお”という自然の物で色水を作るという体験をすることであったわけで、出来上がりが薄い色水であっても、『体験してほしい活動』になっていたと思う。」という講評をいただいた。このふせんと講評で「幼児が幼稚園で経験することは何を一番大切にすべきなのか」を再確認できた。この経験からブルーのふせんが、「保育者にとってあまりうけとりたくないもの」となるのではなく、「自分たちの学びや気づきには必要なもの」というとらえに変わった

ファシリテーションで得たこと

「問い」は、参加者とその日の保育のどこに着目して意見を出せばよいかの視点となった。「ファシリテーター」で全ての意見を肯定的に受け止めつつ、大事なことを共有していく場になった。討議の内容が論点からそれることがなかった。「ふせん」使用したことで、いつでも振り返りができ園内研修の場で活用できる。

「預かり保育・異年齢交流における植物遊びの一考察」
— 異年齢における育ちの違いを見取る —

○湯浅 優典 (せんりひじり幼稚園)

1 はじめに

1966年開園のせんりひじり幼稚園は、一人ひとりの色を大切に子どもの思いを受け止め、自己肯定感の育ちをベースに豊かな自然環境の中で、興味関心のあることに主体的に取り組める環境を大切に保育を進めています。

幼保連携型認定こども園へと移行し、現在約100名の子どもが在籍する預かり保育(ホームクラス)において、在園時間の異なる子どもたちが、集中して遊びに取り組める場や家庭的な雰囲気の中でくつろげる場の配置など環境の構成をしながら日々の保育を工夫している経緯がある。

2 研究目的

幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説『環境 内容の取扱い(2)』には、「幼児期において自然の持つ意味は大きく、自然の大きさ、美しさ、不思議さなどに直接触れる体験を通して、園児の心が安らぎ、豊かな感情、好奇心、思考力、表現力の基礎が培われることを踏まえ、園児が自然との関わりを深めることができるように工夫すること。」と記されており、乳幼児が自主的に自然環境に関わろうとするこの意味が示唆されている。

本研究では本園の預かり保育(ホームクラス)で目にした子どもたちの自主的でいきいきと取り組む自然・植物遊びに着目し、様々な植物と関わる中で見られる異年齢交流や各年齢によって見られる植物と

の関わり方の違いや育ちの違いを見取り、自然・植物遊びの重要性の検証、考察をしていきたいと考える。

3 研究方法

保育実践の記録(保育日誌、自然・植物あそび記録ノート、写真)より、異年齢の子どもたちが植物環境に触れる経験から子どもの言葉、表情、表現などを抽出して考察を行う。

対象：せんりひじり幼稚園

3.4.5歳児 15名

期間：2017年4月～11月

場所：せんりひじり幼稚園
園庭、裏庭

4 実践事例

事例① カラスノエンドウ(豆取り、ピーピー笛)



各年齢の育ちの違い

○年少児

・鞘から豆が出てくることに興味を持ち、豆を集めることを楽しむ。

○年中児

・鞘の割り方を知り、取り出した豆をままと遊びに使う。

○年長児

・鞘のすじを取りきれいに割って豆を取り出し、数を数える。

・笛を鳴らそうと根気強く挑戦する。

・枯れたカラスノエンドウでお茶を作る。

事例② ツバキの実の擦りおろし



各年齢の育ちの違い

○年少児

・保育者と一緒に実を擦りおろすことを楽しむ。

○年中児

・根気強く擦りおろし、擦りおろすことに夢中になる。

○年長児

・すりおろした実が酸化し色が変わることに気づく。

・種の殻を剥き感触を楽しんだり、別のものに見立てたりして楽しむ。

・すりおろした実に水を入れて混ぜると泡が立つことに気づき、泡を作ることを楽しんだり、泡を使ってままごと遊びを楽しむ。

事例③ どんぐりの殻割り



各年齢の育ちの違い

○年少児

・どんぐりを潰す感触を楽しむ。

○年中児

・どんぐりを割り、中の実を擦りおろすことを楽しむ。

○年長児

・どんぐりを潰さないように力加減を調節して殻を割り、中の実を取り出す。

・殻を剥いたどんぐりを別のものに見立てる。

・友だちと役割分担をしながら殻を割ったり、実を擦りおろす。

・すりおろした実の粉に水を入れ粘土を作る。

5 考察

預かり保育において、いきいきと植物遊びをする子どもたちを見ていると、紙やブロックなどの人工物での遊びと違った各年齢による様々な育ちの違いを見取ることができた。

事例のような植物あそびを通して見えてきたことは表現が多様であり、これまでの経験や知識を活かした言葉での表現が盛んに見られたこと。また、音を鳴らしたり殻を割ったりなどの工夫や細かい力加減を要すること。そして、人工物の遊びでは感じることでできない、様々な感触（触覚）や匂い（嗅覚）、色や見た目、形の変化（視覚）など五感を大いに感じることであったことであり、植物遊びは子どもたちにとって魅力的な遊びの一つと言える。

また、主体的に様々な植物に関わる中で、子どもたちが様々な変化に気付いたり、「こうしたらどうなるだろう？」と試したり等、子どもたち自身で遊びを発展させていく姿が見られ、思考力や科学する心の芽生え、表現しようとする力、試行錯誤する姿、探求心や好奇心など様々な力が育まれている事も確認する事が出来た。

新潟県における人材確保の 取り組み

新潟県は人口減少と人口流出がいよいよ顕著になって参りました。県はもとより多くの市区町村でこの対策に乗り出してはいますが、いまだ決定的な打開策が見いだせていないのが実状です。最新の予測データでは、10年後20年後には既に消滅している市区町村もあるという状況の中で、新潟県においても人材確保の取り組みは最重要課題であります。

また人口減少の一端には首都圏などへの大量の人口流出が含まれていると言われていています。幼稚園教諭や保育教諭の求人数や職種の豊富さも一つの要因であると言えますが、とくに地方との賃金格差が大きな要因となっています。民間企業主導の託児施設などでは豊富な資金を武器に、就職内定後の転居費用や家賃補助など多額の支度金を用意しており、都会に憧れる若者の多くがこれに引き寄せられて行くというのが実態として浮かび上がっています。

これらのことを踏まえながら、当協会では様々な取り組みを行っております。例年7月には大規模な就職フェアを実施し、現任教諭たちによるトークセッションや新米教諭の一日を追ったPV上映、また園ごとに相談ブースを設け、新卒者、既卒者を対象に採用に関する相談会を行います。また今年度は地元養成校と連携し、将来的に保育の仕事を目指す可能性のある高校生を対象にした体験型の相談コーナーも設け、中・長期的な視野に立って人材の掘り起こしを図って参る予定です。また教職員が働き易く、長く勤めたいと思えるような職場環境を整備することで離職防止に繋がりたいとの願いから、キャリアパスの導入や労務管理に関する研修会も毎年数回にわたり実施しています。

((一社)新潟県私立幼稚園・認定こども園協会
常任理事、新潟市・真人幼稚園／前田幹)

人材定着支援の一環として 教職員向けの出会いイベントを 開催しました

当協会では、平成29年度より、「幼稚園の人材確保支援事業」に取り組んでいます。

そこで、福岡県子育て支援課が推進している「福岡県出会い・結婚応援事業」を活用した、出会いイベントを開催しました。もちろん、対象となるのは、幼稚園の教職員です。人生において「結婚」は、最も大きなターニングポイントの一つです。他人同士が出会い、一緒に生活をしていく…。職場である幼稚園の近くで、「結婚」という尊いご縁に出会うことが出来たならば、その後の人生の中に幼稚園での仕事の継続や、職場復帰という選択肢があり得るのではないかと考えました。

平成30年度は、女性教職員向けに福岡県内の4地区でイベントを実施しました。お食事をしながらグループトークをし、途中男性に移動していただきながらの1対1トーク。フリータイムの後、カップリング発表という流れでした。計58名の教職員が参加、計19組のカップルが誕生しました。「次はいつあるの?」とお問合せをいただくほど、大変好評でした。参加者が後日職場でイベントの様子等を話し、職員間の会話が盛り上がるなど、職場での話題づくりの一環にも繋がったり、普段関わることの少ない業種の方との出会いから、視野が広がったとお声もいただきました。本年度は、男性教職員向けのイベントも開催する予定です。

この事業を通して、新しい人生が生まれ、生活を共にする中で小さな命をよろこび、また、園児の笑顔を一層輝かせてくれる先生が働き続けてくれることを願っています。

((一社)福岡県私立幼稚園振興協会広報委員長、
糸島市・認定こども園瑠璃幼稚園／波多江教雄)

編集後記

私たち幼児教育関係者の長年の悲願であった幼児教育の無償化が始まります。このことはご承知の通り、今までにも増して幼児教育の重要性を社会に対して発信することが重要なこととなってきます。まずは園内での教員間での教育理念と方針の共有、そしてそれらをどのように保護者に伝えるか、どのように「保育の見える化」をしていくかを各園が真剣に考えることが急務となってきます。

このような課題がある中においても、私たちが最も大切にすべきことは今までの歩みの中で地域に認められた園としての役割を再認識して、この地域にこの園があつてよかったと地域や保護者の皆様に思っただけのよう、教育の質の向上に取り組んでいくことだと思います。2学期が始まり子どもたちの元気な声が響いています。それぞれの園での取組みが子どもたちの力になることを切に願います。

(調査広報委員長・川名マミ)

令和元年度（第7回）免許状更新講習の認定一覧

●選択領域「受講者が任意に選択して受講する領域」に関する免許状更新講習

講習の開催地	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講数	認定番号
青森県 青森市	第1講座：保育をみる視点について 第2講座：実際の保育見学（1グループで一人の園児をそれぞれの視点にて観察・記録を行う） 第3講座：各自の観察記録をもとに、グループ内にて観察内容を協議 第4講座：各グループ内にて観察視点について発表 第5講座：観察視点の分類と自身の観察視点についての振り返りを行う。主観的観察視点と客観的観察視点について	石川 悟司（盛岡大学 文学部児童教育学科教職課程准教授）	6時間	令和元年10月18日	30人	平31-80011-508918号
香川県 高松市	本講習では、「子どもの創造的想像力を育む保育者の役割～プレイフル・アクティブラーニングのすすめ」をテーマとし、保育者は子ども中心の保育において、どのような言葉かけやかかわり方を意識し大切にしなければならないか、「自発的な活動」から生み出される自律的思考力や創造的想像力・考える力を育む保育のあり方について、事例を含めながら深く考察する。	内田 伸子（十文字学園女子大学 客員教授）	6時間	令和元年10月24日	40人	平31-80011-508919号
北海道 旭川市	幼児教育及び保育について理解と実践をふり返し、応用力をつけ現場における現代的な課題に関する知識と理解を得ることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。	傳馬 淳一郎（名寄市立大学 保健福祉学部社会保育学科准教授）	6時間	令和元年10月5日	120人	平31-80011-508920号
北海道 釧路市	幼児教育及び保育について理解と実践をふり返し、応用力をつけ現場における現代的な課題に関する知識と理解を得ることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。	二宮 信一（北海道教育大学釧路校 教授）	6時間	令和元年10月12日	50人	平31-80011-508921号

保育力の向上のために

資質向上の取組の証明に

キャリアパスや免許更新のために
研修の記録を大切に残しておきましょう！

監修 公益財団法人 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

改訂新版 研修ハンドブック

4145301 **648円**（本体600円）

●B6判
●112ページ

ご用命はお近くの書店、またはワンダー販売会社まで。

株式会社 世界文化社 ワンダー CS 事業本部
TEL03-3262-5128



北海道 室蘭市	幼児教育及び保育について理解と実践をふり返し、応用力をつけ現場における現代的な課題に関する知識と理解を得ることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。	二宮 信一（北海道教育大学釧路校 教授）	6 時間	令和元年 10 月 12 日	50 人	平 31-80011-508922 号
北海道 帯広市	幼児教育及び保育について理解と実践をふり返し、応用力をつけ現場における現代的な課題に関する知識と理解を得ることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。	二宮 信一（北海道教育大学釧路校 教授）	6 時間	令和元年 10 月 12 日	50 人	平 31-80011-508923 号
北海道 函館市	幼児教育及び保育について理解と実践をふり返し、応用力をつけ現場における現代的な課題に関する知識と理解を得ることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。	二宮 信一（北海道教育大学釧路校 教授）	6 時間	令和元年 10 月 12 日	100 人	平 31-80011-508924 号
北海道 北見市	幼児教育及び保育について理解と実践をふり返し、応用力をつけ現場における現代的な課題に関する知識と理解を得ることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。	二宮 信一（北海道教育大学釧路校 教授）	6 時間	令和元年 10 月 12 日	50 人	平 31-80011-508925 号
北海道 函館市	幼児教育及び保育について理解と実践をふり返し、応用力をつけ現場における現代的な課題に関する知識と理解を得ることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。	本田 真大（北海道教育大学函館校 准教授）	6 時間	令和元年 10 月 19 日	100 人	平 31-80011-508926 号
北海道 札幌市	幼児教育及び保育について理解と実践をふり返し、応用力をつけ現場における現代的な課題に関する知識と理解を得ることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。	蔵満 保幸（札幌国際大学 人文学部心理学科子ども心理専攻教授）	6 時間	令和元年 10 月 19 日	100 人	平 31-80011-508927 号
神奈川県 小田原市	野津「これまで私たち幼稚園教諭が子どもたちのためと思って整えてきた環境は…子どもにとってもそう感じることでできるものだったでしょうか？子どもにとって本当に必要な環境とは何か一緒に考えていきましょう。」望月「本講習では、幼児から中学生までの音楽的活動を見つめ、幼児の音楽的表現活動を見据えた教材研究、製作、展開、指導について考える。また、教材研究に必要な音楽の要素に関する知識を確認し、表現技術の実践を行う。」	野津 直樹（小田原短期大学 保育学科准教授） 望月 たけ美（小田原短期大学 保育学科准教授）	6 時間	令和元年 10 月 26 日	150 人	平 31-80011-508928 号
神奈川県 小田原市	杉崎「青年期の発達課題を整理し、その発達課題を乗り越えるために必要なエネルギーを子どもの心にどのように培えばいいか、どのような支援をしていけばいいか、幼少期に大切なことは何か、について考えます。」上野「児童虐待、DV、貧困、ひとり親家庭など、現代社会では子どもの育つ家庭に様々な困難があります。これらの背景と現状を踏まえ、保育者としてどのように対応すればよいか考えてみましょう。」	杉崎 雅子（小田原短期大学 保育学科講師） 上野 文枝（小田原短期大学 保育学科准教授）	6 時間	令和元年 10 月 27 日	150 人	平 31-80011-508929 号
神奈川県 小田原市	小倉「各種の発達理論と目前の子どもの発達の事実を、どのように結びつけ指導に生かすのか。誕生から成人までの発達の道すじを俯瞰し、人間発達のダイナミックな構造に迫ることで、改めて乳幼児期の課題とは何かを考える。」馬見塚「絵本、紙芝居、おはなし等、保育現場の児童文化財について、その基本概念を理解する。また、演習を交えながら効果的な活用方法について考える。」	小倉 直子（小田原短期大学 保育学科講師） 馬見塚 昭久（小田原短期大学 保育学科准教授）	6 時間	令和元年 11 月 2 日	150 人	平 31-80011-508930 号
茨城県 水戸市	はっきりと障害があるとは言えないが、教員が保育をしていて気になる子どもが各園に在園していると思われる。個性として認めながらも、援助や支援に工夫の必要な子どもを本講習で取り上げ、具体的にどう保育をしていくことが大切か考えていく。また、保護者に対しての支援等についても考えていきたい。	飛田 隆（茨城キリスト教大学 文学部児童教育学科准教授）	6 時間	令和元年 11 月 10 日	100 人	平 31-80011-508931 号
茨城県 土浦市	はっきりと障害があるとは言えないが、教員が保育をしていて気になる子どもが各園に在園していると思われる。個性として認めながらも、援助や支援に工夫の必要な子どもを本講習で取り上げ、具体的にどう保育をしていくことが大切か考えていく。また、保護者に対しての支援等についても考えていきたい。	飛田 隆（茨城キリスト教大学 文学部児童教育学科准教授）	6 時間	令和元年 11 月 17 日	120 人	平 31-80011-508932 号